焼きたてパンの香りが漂う古民家

山本 裕造さん
あや子さん

農村地域（プラス）＋SNSの力

自作の石窯でパンを焼く裕造さん。

条件の適うまちに来た

京都市内への通勤圏内で、高槻市の実家に近く、人が少なくて、のどかな環境で子育てが出来て、DIYや家庭菜園が出来る古民家で…と、自分たちの好きな生活スタイルの条件に適うところが亀岡のこの地域だったんです。

パン屋さんを開こう

移住当初はサラリーマンだったんですが、日々の仕事に振り回されているように感じていました。そんなとき妻が得意なパン作りと、古民家の雰囲気を活かしてパン屋を開こうと。店内、石窯、看板などできる分は自分たちで作りました。

農村地域ならでは

この地域は、亀岡市のコミュニティバスが1日数本走っている程度なので車が必須。店の経営には、お客さんにここまで足を運んでもらうための工夫を常に考えなくてはいけません。最近は、ここまで来られないという人のために、SNSで注文を受けるデリバリーサービスも始めました。

地域とのかかわり

消防団や区の寄合など地域の用事はかなり多いです。人数が少ないのですぐに色々な役が回ってきます。でも、みんなで助けあいながら地域の行事をすることで、親しくなれるのは嬉しいことです。

子どもと思いっきり遊ぶ

パン屋を始めてから子どもと遊ぶ時間を大切にできるようになりました。ご近所の方たちの見守りもあり、子どもたちは、家の周りに広がる田んぼや畑、農道で思いっきり遊んでいます。冬場は霜柱ができた土の上を、親子でサクサクと音を鳴らしながら歩いたり。これって都会では出来ない体験ですよね。のびのびしている子どもを見ると、ここに来て良かったと思いますね。

秋には田んぼに彼岸花の赤が映える。

犬飼川沿いの桜並木。

長女が5歳のときに書いた文字を店のロゴに。

05

山本 裕造さん（40歳）パン屋
出身地：大阪府高槻市
あや子さん（39歳）パン屋
出身地：山梨県甲府市
子ども：6歳・6歳（双子）
移住歴：9年
移住前の住所：京都市

吉川町・曽我部町・薪田野町

曽我部町にある亀岡市運動公園は陸上競技場やテニスコート、野球場、体育館やプールなどがあり、多くの市民がスポーツに汗を流している。夏のプールは人気で市外からも多くの人が訪れる。

運動公園の桜は亀岡のお花見スポット。秋はコスモス園や彼岸花を撮影しているカメラマンを見かける。

- 中部保育所、太田保育園、曽我部小学校
  薪田野小学校、吉川小学校、南桑中学校
- 車で市内中心部のスーパーへ行くことが多い
- 佐藤医院、柿花診療所
- 山本邸からJR亀岡駅まで車で約15分

temae miso

佐伯灯籠

毎年8月14日に佐伯灯籠祭の一連行事として演じる人形浄瑠璃。
薪田野町の三社（御霊神社・河阿神社・若宮神社）を巡った後、薪田野神社で合同祭典が行われ、太鼓掛けや灯籠追いなど珍しい神事が行われる。国の重要無形民俗文化財。

穴太寺

西国観音霊場二十一番札所。美しい庭園は京都府の名勝に指定されている。